

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 2 0 年 4 月 1 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 5 0 0 2 5 0 0
法人名	医療法人 寿山会
事業所名	グループホームヴァンペール
所在地	東大阪市岩田町 1 丁目 1 番 3 5 号 (電 話) 0 7 2 - 9 6 3 - 5 0 8 4
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 3 月 2 8 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 3 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 4 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	1 6 人
職員数	1 6 人	常勤 1 3 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	1 5 . 1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 A L C 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	7 2 , 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	約 1 5 , 0 0 0 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	3 0 0 円	昼食 6 0 0 円
	夕食	6 0 0 円	おやつ 円
	または 1 日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 3 月 1 日現在)

利用者人数	1 5 名	男性 0 名	女性 1 5 名
要介護 1	3 名	要介護 2	6 名
要介護 3	2 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 8 . 1 歳	最低 7 5 歳	最高 1 0 1 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人寿山会喜馬病院、寿山会ホームケアクリニック、西村歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域に根ざす医療法人が医療と福祉の両サービスを連携させ、クリニック、訪問介護ステーションなどを展開しています。退院後の地域の認知症高齢者が安心して住める場所の提供を目指し、職員寮を改装し開設されたホームです。管理者、職員は利用者の個性性と尊厳を大切にし、プライバシーを遵守したサービスに努めています。1 0 0 歳を超えた利用者を中心に、利用者同士で自然に支えあい、穏やかに暮らせるようにサポートしています。食事は 3 食ともホームで利用者と共に調理し、温かいものを食べることができるよう心掛け、また献立はみんなの好みを取り入れて、土日には買い出しにも行っています。また通常の入浴のほか、体調不良で入れない方や希望者には足浴の支援があり、安眠につながっています。1 階に同法人の保育所があり、常時子どもの声が聞こえたり、笑顔が見られたり、また保育所との交流もあります。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回の改善課題については、職員間で検討がなされ、改善に向けて取り組んでいます。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録を基に介護計画書が作成されており、改善が図られています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	自己評価については月例会議で全項目について話し合い、全職員の意見をまとめて管理者、主任、計画作成担当者が中心となって作成しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	運営推進会議ではグループホームの事業計画や活動内容の報告、その他利用者の日常生活の様子などを説明しています。地域の自治会長や地区の福祉委員長等の参加も得られ、認知症についての理解も深まりつつあります。同法人の老人保健施設主催の納涼祭に参加し、地域の方々との交流を図っています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	面会のため頻繁に来訪される家族が多く、来訪の際には近況を伝えるとともに、毎月必ずおたより等でお知らせの機会を設け、健康状態や服薬状況も報告しています。金銭管理については、出納帳を作成し、家族へ送付し、確認してもらっています。玄関脇に意見箱を設け意見を自由に言える雰囲気作りを心がけています。家族会を開催し、また行事の際にはできるだけ家族の参加を求め、何でも話し合える機会を作っています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	地域の自治会に加入し、回覧が回ってくる関係作りができています。毎月、近隣公園の清掃に利用者と一緒に参加したり、地域のお祭りに誘ってもらったりしています。近隣のスーパーや理髪店、果物店を利用し、交流を図っています。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「1. 私達は利用者様の意思・尊厳・プライ バシーを遵守します 2. 私達は利用者様に 満足していただける医療福祉サービスを提供 することをお約束します 3. 私達は地域コ ミュニティー施設をめざします」を理念とし て掲げ、パンフレットやエレベーター前、リ ビングの見やすいところなどにも掲示してい ます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化され、毎朝の申し送りの際に唱 和するとともに、毎月法人全体の会議でも業 務が理念に沿っているかを確認し合っていま す。新任研修の時には説明し周知しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	地域の自治会に加入し、回覧が月2回まわっ てくる関係作りができています。毎月、近隣 の公園の清掃に利用者と一緒に参加したり、 地域のお祭りに誘ってもらったりしていま す。近隣のスーパーや理髪店、果物店を利用 して、交流を図っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、自己評価作成には全員で取り組んでいます。前回の外部評価についても、家族・職員に報告し、具体的な検討をして改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成し、自治会長・地区福祉委員長・地域包括支援センター職員・家族代表などの出席を受け、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。今後、原則2ヶ月に1回の開催が期待されます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の高齢福祉課と連携を取り、絶えず連絡や相談をしています。今後も運営推進会議に参加を依頼すると共に、意見交換に取り組む研修があれば参加することとしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会のため頻繁に来訪される家族が多く、来訪の際には近況を伝えるとともに、毎月必ずおたより等でお知らせの機会を設け健康状態や服薬状況も報告しています。金銭管理については、出納帳を作成して家族へ送付し、確認してもらっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設け、意見を自由に表出できる雰囲気作りを心がけています。家族会を開催して交流したり、また行事の際にはできるだけ家族の参加を求めたり、何でも話し合える関係づくりに努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限抑えるように努めており、定着率は高い状態にあります。また、業務マニュアルを作成して活かしています。新人職員については、法人が発行する情報誌で家族等に紹介しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに職員が参加する機会を設け、研修報告書の提出も求めています。年間のおおよその計画を立てており、全職員が参加できるように配慮しています。新人研修については、マニュアルに基づく研修を行っています。年間研修計画の作成とともに、研修に参加していない職員に対する情報共有の徹底が望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国認知症グループホーム協会に加入しています。東大阪市のネットワーク作りはできていません。近隣のグループホームからの懇親会の案内がありましたが参加できていない状況です。	○	積極的にネットワーク作りや相互訪問、勉強会の機会を作り、管理者・職員共に参加できる取り組みが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には自宅や入院先、老人保健施設等を訪問し、本人・家族との面会時やパンフレット等で説明を行っています。また、ホームの見学もしてもらっています。帰宅願望の強い方には、家族と協力のもと、徐々になじんでもらえるよう工夫しています。宿泊希望の家族にも応じています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に食事の準備をしてもらい、味付けを聞いたり、昔話を聞いたり、ことわざを教してもらったり、地方の郷土料理の話を聞いたりしながら、調理方法についても教してもらっています。新聞やテレビの話題、子育てや年金についてなど幅広く意見を述べる利用者もおられます。誕生日には利用者と共に手作りケーキを作り楽しんでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の面会も多く、家族の希望や日々の生活から利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望を聞き取り、アセスメントに活かしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員も参加して介護計画を作成しています。利用者や家族の意見を取り入れて反映しています。また、アセスメントシートには利用者の生活歴、ライフスタイルについても記載され、望まれる生活を取り入れています。作成した介護計画書には家族の同意のサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月から6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や週ごとのミーティング、不定期の会議での話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しを行っています。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の都合がつかない場合の通院介助、外出への付き添い等、希望に基づく生活支援に努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同法人のクリニックの往診を月2回、また必要に応じて歯科医師による訪問もしてもらっています。また、家族の協力を得てかかりつけ医にも通院しています。状態の変化に応じて24時間医療連携が取れる体制も確保しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りに関する指針」を説明し、同意を得ています。現在該当者はいませんが、利用者の状態に変化があれば、家族や医師の意向を確認しながら方針を共有しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念の「意思・尊厳・プライバシーを遵守する」をもとに職員一人ひとりが意識の向上を図るとともに、日々の介護場面においても利用者を遵守した対応を心がけています。職員の言葉使いも丁寧です。個人情報の取り扱いについては、職員へは書面にて周知徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は決まっていますが、利用者一人ひとりの生活リズムを大切に、できるだけ個別に配慮した支援を行っています。食事時も、ゆっくり摂られる方は、時間をかけて食べられるように支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については3食ともホームで調理し、熱々でできたての美味しい食事提供を心がけています。職員も見守り、一緒に会話をしながら食事をしています。毎食味付けや柔らかさを工夫して作っており、利用者に喜ばれています。食事作りについては配膳や下膳、食卓を拭くなど利用者のできる範囲で参加してもらっています。お箸やコップは、馴染みの物を持参してもらい使用しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や精神状態を見ながら支援しています。週3回を目処に、ゆっくり寛いだ入浴ができるよう配慮しています。希望すれば毎日でも入浴可能です。入浴日でない日にも足浴を行うなどの対応をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	グループホームの建物1階にある保育園の園児との触れ合いや交流があります。門扉から玄関までの通路の花の手入れや水遣り、洗濯をたたむなど、できることはしてもらい役割を持って生活してもらっています。スポーツの好きな方には野球や相撲のテレビ観戦、風船バレーやカラオケ等利用者の好きなことや楽しみごとをしてもらいながら、日々過ごせるよう支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎週火曜日はスーパーや公園へは車で出かけています。フラワーアレンジメントを習っている方は月1回同法人の施設へ出向いて行き、作品を食堂や居室に飾って楽しんでいます。また隣の公園へは天気が良ければ出かけて、近隣の子ども達とも交流しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の2・3階部分がグループホームであり、外出にはエレベーター使用が欠かせません。帰宅願望の強い利用者がおられ、家族の了解のもと、やむを得ずエレベーターの施錠をすることもあります。通常は鍵をかけないケアに取り組んでいます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルを作成しています。また消防訓練の実施や避難訓練を行っています。地域への協力要請や、食料と水の備蓄については特別な対応はなく非常用の備蓄はありません。	○	非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄することが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量を把握しています。また栄養バランスについては、食材配送業者の管理栄養士が管理しています。食事は利用者のペースで摂れるよう配慮し、水分摂取についてはこまめに声かけを行い、職員が情報を共有しながら対応しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は食堂と兼ねており、習ってきたフラワーアレンジメントなどが飾られ季節感が漂っています。また利用者一人ひとりの椅子には肘掛けがあり、ゆったりと過ごせるよう工夫しています。壁には作品のほか、毎月の行事写真を掲示し、家族の方にも見てもらっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には自宅から持ってこられた小物入れや仏壇、椅子やテレビ等、なじみの家具に囲まれて居心地の良いうに工夫されています。若い頃の旅行写真や家族写真を飾られている方もあります。洗面所も設置されており、居室は清潔で整頓されています。		